

みずくらしいど

校長 加藤雅弘

「学びはお金」その2 『ブラタモリ』は「なぜ、おもしろい？」

NHKの『ブラタモリ』という番組、ご覧になったことがある方も多いのではないのでしょうか。私はニュース以外のテレビ番組を滅多に見ないのですが、昨年大河『麒麟が来る』（大河ですから当然終わっています。今年は時々タイミングが合えば）と『ブラタモリ』は、可能であれば必ず見えています。『ブラタモリ』は、2015年に現在の形でレギュラー化して以降、土曜日夜 19:30～というゴールデン枠にもかかわらず視聴率を毎回二桁、高い時は15%を超える長寿人気番組です。「なぜ人気があるのか」考えてみると、私が提唱している「学びはお金」に密接に関係していることに、連休中の放送を見て感じました。ご覧になっていない方にとっては十分にはおわかりいただけないかもしれませんが、このことを、番組に沿って説明して参ります。（紙幅により箇条書き）

「近代日本経済の父 渋沢栄一は、なぜ、深谷で生まれたのか」

これが5月1日の『ブラタモリ』のお題です。常に、このような「？」（謎）を調べていく番組です。調べていく途中でも、次々と専門家が「なぜ」という問いをタモリさんに発していきます。例えば、番組の冒頭は、有名な「深谷ネギ」から入ります。

- ネギの作づけ面積日本一 ネギ＝根深 砂の地質⇒根を張りやすい 【理科：地質】
砂は水をためにくいため水田に不向き 【社会：稲作・土地利用】
- 砂：粘土＝4：1の「砂壤土」がネギに向いている 【算数】

「なぜ、砂壤土が血洗島(昔のこの付近の地名)に広がっているのか」

- 扇状地 川が山から平地に出る場所 【社会（地理）：川がつくる地形】
上流から小石、砂、粘土の順に積もる 【理科：流れる水の働き】
- 利根川は頻繁に洪水を起こし、ここがその流路 【社会：自然災害】

「中瀬(利根川沿いの地名)の港はなぜ 栄えたのか」

- 浅間山の噴火 江戸時代舟運 川底 大船が入れない 乗り換えの拠点 【社会：歴史】
- 浅間山の噴火 安山岩 泥流 【理科：地学】

このように**番組全体の「なぜ？」**の中に、**小さい「なぜ？」**があり、それを地形、地質、地理、歴史の知識を組み合わせることで解き明かしていくのです。この回において使われた知識を私の理解で小中学校の教科に位置付けてみたのが【 】で示した教科名です。私は、すべての「なぜ？」が「なるほど」と納得できて、とても知的興奮を得られました。教科としてはバラバラな知識ですが、それらのピースがきれいにまとまって「謎」というパズルが解ける感覚です。これが『ブラタモリ』の楽しさです。また、これを使って今後実社会にある事象について「なぜ、そうなのか」を自力で解明することもできるようになります。「見方・考え方」でいえば、社会的な見方・考え方と理科の見方・考え方というアンテナで、身の回りの事象を自分の解釈の枠組みに構造的に位置付けているということになります。『ブラタモリ』を楽しめるようになる、つまり世の中の「なぜ」を解き明かすことができるようになる、「学びはお金」の姿の一つです。